

アメリカ 1



留学体験談

先輩が語る！

所属：社会・国際総合学類

留学した国・学年：2013年8月～2014年5月・3～4年

留学した大学：カリフォルニア州立大学ソノマ校

留学先での専攻・所属：地理学・国際関係学部

奨学金の有無・奨学金の名前：なし

【留学について】

Q1. 留学の目的、動機などを教えてください。

- 中学生の頃に国際問題に興味を持ち、大学生になったら留学をしたいと思っていたから
- 大学2年生の時にフィジーに語学留学に行き、長期間海外で生活することの意義を実感したから

Q2. 留学先にその大学（国）を選んだ理由を教えてください。

- 当時興味があったglobalizationとsustainabilityに関する授業等、自分の興味に合う授業を多く提供していたから
- 今まで机の上で勉強してきた英語を、実際の生活で使うことで、自分のものにしたいと思ったからドラマgleeやTEDに感銘を受けていたから

【大学について】

Q1. 留学した大学の校風を教えてください。

車を2時間程走らせると都会のサンフランシスコに行ける距離に位置する一方、目の前には山が見え、川や海にも遊びに行ける自然に囲まれた大学なので、ゆったりした空気が流れていました。筑波に似ていると思います。

Q2. 留学した大学での学生の様子を教えてください。

下級生は若くて元気でしたが、全体的には落ち着いた人が多かった印象です。自分の親世代の人たちも一緒に授業を受ける等、人種も年齢も様々でした。

Q3. 留学した大学での留学サポートについて教えてください。もし利用していたら、その様子も教えてください。

留学生向けのオリエンテーションやイベントの開催、定期的カウンセリング等、留学生サポートはしっかりしていました。エッセイ等を見てくれるWriting Centerにも何度も通いました（現地の学生も利用しており、私は留学生の指導経験が豊富な人に担当してもらっていました）。

Q4. 留学先で入っていたサークルなどがあれば教えてください。また、どのような活動をしていましたか。

Spring Semesterにコミュニティへの貢献活動を推進している学生団体のプログラムに参加しました。週一回ミーティングに参加する共に、1週間の春休みを使ってラスベガスのNGOで都市の貧困をテーマにボランティアをしました。

【学習について】

Q1. 留学先ではどのような授業を取っていましたか。授業数も覚えていたら教えてください。

Fall Semester：地理学、女性学・ジェンダー学（3つの授業で計12単位）

Spring Semester: 地理学、社会心理学、ネイティブアメリカンに関する授業（同上）

心理学、人類学は当時興味のあったglobalizationとsustainabilityをテーマにしたものでした。

Q2. 留学先で一番印象に残っている授業はどの授業ですか。簡単に内容も紹介してください。

女性学・ジェンダー学の授業。性的マイノリティーに関する授業です。アメリカのドラマgleeをきっかけにこのテーマに興味を持って履修しました。今程LGBTという言葉が日本で浸透していない頃にとったことと、アメリカ社会の中で当たり前とされているものを知らなかったこともあり、ついていくのは大変でしたが、だからこそ履修した意味がありました。

Q3. 筑波大学での授業の様子と比較して、留学先での授業はどうでしたか。気づいた点があれば何でもよいので教えてください。

「アメリカの授業はとても大変だ」と聞いていたのですごく心構えをして行きました。確かに課題の量は多く、大変でしたが、授業で議論されている内容は筑波の授業で考えてきたことと重なるところが多かったです。ただ、授業中、学生がどんな些細な質問、躊躇わずにするとところや、自分の経験・考えを積極的に話す姿はカルチャーショックであり、良い刺激になりました。

Q4. 留学先での学習において、もっとも必要だったと思うアカデミックスキルは何ですか。（ライティング、スピーキング、リスニング、リーディング、リサーチスキル、クリティカルシンキング、コミュニケーション能力など）

リスニング。想像していたよりも圧倒的に速いテンポで進む話になかなかついて行けませんでした。聞き取れないので、何も返せないという日々が続きました。粘り強く授業に通い続ける、オフィスアワードに何度も先生に会いに行く、お喋りな友人と過ごすといったことで、リスニングに慣れてくると、他のスキルも伸びていった気がします。

Q5. 上記に回答した内容で、留学に行く前にできるだけ身につけておけば良かったと思うスキルはありますか。

リスニング。実際、現地で生活する中で伸ばすのがベストだと思いますが、ニュースやドラマをたくさん見たり、留学生と会話する練習をしておけば良かったと思いました。

Q6. 留学に構えて、どのような準備学習を日本で行いましたか。また、おすすめの学習法があれば教えてください。

【語学について】

ひたすらTOEFLの勉強をしました。全て独学だったのですが、今はライティングヘルプデスクもあるので、Writingに関してはぜひ第三者に見てもらってください。あとは、英語を使う授業を履修したり、留学生の友達を作るのもおすすめです。

使用したテキストは、『Official Guide to the TOEFL Test』『受験英語からのTOEFL Test iBTシリーズ』『Barron's TOEFL iBT』。

【語学以外について】

アメリカ留学に関する本を一冊読んでおく。経験者の話を聞く。

Q7. 留学先での指導員、もしくは授業の担当教員とのコミュニケーションはどうでしたか。なにか気づいた点があれば教えてください。

初回の授業で留学生であることを伝え、電子辞書等の使用について聞くと、すべての先生が快く許可してくれました。留学生ということを考慮した課題を出してくれたこともあります。留学後半は、仲良くなった先生のオフィスに何度も足を運び、課題の相談から雑談まで、様々な話に付き合ってもらいました。

【ライティングについて】

Q1. 留学前に、どのようなライティングの学習をしましたか。

- 英語でレポートを書く授業を履修。TOEFLのWritingの練習をひたすらする。
- 留学計画書の英語をネイティブ並びに英語ができる友人に添削してもらう。

Q2. 筑波大学でのレポート（日本語、外国語）と比較して、留学先でのレポートはどうでしたか。

現地のほうが、提出する回数が多かったです。短いエッセイ等を毎回提出するといったこともありました。

Q3. 学先のレポートで困ったことがあった時、どのように解決しましたか。

Writing Centerというものがあったので、そこで予約をとって、何度も指導してもらいました。また、オフィスアワーに担当教員に会いに行き、相談にのってもらいました。

Q4. 留学先にライティングセンター（もしくは類似する学習支援機関）はありましたか。ありました。

Q5. 上記の期間を利用していたら、その様子を教えてください。

現地の学生も利用していました。私は、留学生への指導経験が豊富な人に担当してもらいました。予約制で希望日時を予約し、その時間にセンターに行っていました。

【生活について】

Q1. どのような部屋に住んでいましたか。（寮、アパート、ルームシェア、ホームステイ等）

寮（一軒家のシェアハウスのような形だった）

Q2. その部屋はどのようにして探しましたか。

現地のコーディネーターから送られてきた情報の中に寮に関するものがあり、それで知りました。

Q3. 部屋を決めるときの注意やアドバイスなどがあればお願いします。

2人部屋やシェアハウスの場合、どんな人と生活することになるかは運命みたいなのところもあります。トラブルも楽しんでしまうくらいの心意気が大事です。ただ、どうしても、合わない場合は、我慢せず、引越すのも一つの手段です。

Q4. 留学先では、どのようなスーパー、お店を利用していましたか。おすすめやアドバイスがあればお願いします。

Oliver'sというつくばにあるカスミのような場所があり、そこに週1回自転車で買物に行っていました。またルームメイトが車でターゲットやウォルマートといった大型店舗に連れていってくれることもありました。自転車で行ける距離に良い店がない場合、国際免許をとっていか、車持ちの友人を作り、買物に行くことをお勧めします。

Q5. お金の管理はどのようにしていましたか。奨学金や親からの仕送りなど、どのように受け取っていましたか。（現地銀行口座の開設、日本の銀行口座から送金、国際銀行の口座開設、クレジットカードでのATM利用など）

基本はクレジットカード。現金が必要な場合は日本で作ったキャッシュパスポートというものを利用して、ATMから引き落とししていました。

Q6. 留学先でアルバイトはしていますか。もしアルバイトをしていたら、その様子を教えてください。

していません。

Q7. 留学先での人間関係を築くにあたって、大切だと思うことがあれば教えてください。また、日本での人間関係との差異もあればお願いします。

アメリカ人にも色々な人がいます。最初はどうやって人間関係を構築すれば良いのか分からず、無理して合わないコミュニティーにいた時もありましたが、自分のペースで合う場所を見つけていけばいいと思います。

Q8. 大学以外でもコミュニティーに参加しましたか。もし参加していればその様子を教えてください。

友人の紹介で知り合った人と仲良くなってご飯に行ったり、大学に併設された語学学校に来ている老夫婦の家で開かれたパーティーに参加したりしました。

Q9. その他、日常生活や人間関係について気づいた点があればお願いします。

特になし

【治安について】

Q1. 留学した大学、留学先の街の治安はどうでしたか。

想像していた以上に治安はよかったです。ただ、スクールポリスはいました。他の街では、道端でお金を乞う人や声をかけてくる人を見ましたが、私が住んでいた街では特にそういったことはありませんでした。

Q2.安全に暮らすための注意やアドバイスがあればお願いします。（危険な地域、しないほうがいい行動など）

色んな場所に行っていると、雰囲気や危険な場所は分かるようになりますが、初めて行く場所は特に、現地に知り合いがいれば。気をつけたほうがいい場所等を聞いておいたほうが良いと思います。

【経済面について】

Q1. 留学全体でどれくらいかかりましたか。

150万円前後

Q2. 留学先での滞在費はどのようにまかなっていましたか。（奨学金、仕送り、現地でのアルバイト、留学前のアルバイトで貯金など）

仕送り

Q3. 1ヶ月の支出について伺います。

項目	現地通貨	日本円
食費		2万円
家賃・寮費		9万円（光熱費込み）
光熱費		寮費に含まれる
交通費（通学）		特になし
交際費		5000円
旅行費		2万円
その他	特になし	特になし
合計		13万5000円

【留学を目指す人へのメッセージ】

アメリカへの交換留学は、私にとって本当に大きな財産となりました。校内選考からはじまり、現地のコーディネーターとのやりとり、授業、寮での生活等初めてのことだらけで、大変なこともたくさんあると思います。なかなか語学力が伸びずに不安になることもあると思いますが、どんなことも「塵も積もれば山となる」です。コツコツやっていけば、少しずつ力がついてくるのです、諦めず進んでいってください。

たまにはSkypeで日本語を使いまくるのも息抜きになります。みなさんの留学が充実したものになることを祈っています！